

平成27年度 南魚沼郡市音楽部 活動報告

1 研究主題

(1) 研究主題 「思いや意図をもって音楽表現をする子どもの育成」

(2) 主題設定の理由

「音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり、味わって聴いたりする力を育成すること」が重視されている。思考力・判断力を身につけることが課題とされている中、子どもたちが思いや意図をもって活動することができるように指導をしていく必要がある。従って、今年度は、昨年度に引き続き上記主題を設定して研修を深めることとした。



2 研究の概要

(1) 郡市教育振興会研究集会 第1回音楽部会

- ① 期 日 平成27年5月1日(金)
- ② 会 場 六日町中学校
- ③ 内 容 平成27年度研究組織、研究主題の決定及び事業計画立案

(2) 郡市教育振興会研究集会 第2回音楽部会

- ① 期 日 平成27年8月20日(水)
- ② 会 場 五十沢小学校
- ③ 内 容 箏と三味線の実技研修
講師 豊田春美 様(南魚沼市在住)



3 研究の実際

昨年度の反省を受け、今年度は、三味線の台数を増やして、実際に触れる時間を確保した。講師からの講話と実技指導、最後には、全員で合奏を楽しんだ。

参加者からは次のような声があり、日本固有の音楽を楽しむことができた。

<参加者の声から>

- ・ 箏や三味線の奏法等を詳しく学ぶことができたので、学校に戻ったら、今日学んだことを子どもたちに返していきたいと思った。
- ・ 授業に生かせるような内容の研修で有意義だった。
- ・ 参加者一人一人に向き合い、妥協無く指導してくださった講師の姿に力付けられた。

4 反省と今後の課題

昨年度からの申し送りや第1回音楽部会での部員の希望から、昨年度に引き続き、豊田春美先生を講師に招き、三味線と箏の実技研修会を実施することとした。郡市内の小・中・総合支援学校に対して楽器の保有状況を事前に調査し、楽器を借用させていただいた。

今回の研修を通して、伝統楽器や伝統音楽に対する理解を深め、価値観を広げることができた。グローバル化が進む中で、子どもたちが自国の文化にたっぷりと親しむことは極めて意義深いことである。今回の研修のように、指導に当たる教員自らが伝統楽器や伝統音楽に親しむことができたのは、大きな成果であった。

実技研修であるがために、どうしても多くの時間が必要となる。熱中してくれば、時間があればあるほどよいということにもなりがちではあるが、曲の長さや難度、扱う楽器の種類、グループ編成等に工夫を加えることで、限られた時間の中でもより充実した満足感のある研修にしていきたい。

